

# 常任委員会報告

## 総務文教厚生委員会

### ■今定例会の審査結果

審査の結果、当初予算、補正予算、陳情を含む25件のうち議案24件を可決し、陳情1件を採択しました。

### 国民健康保険税に関する勝山市条例の一部改正について

平成30年度の国民健康保険制度改革は、県が県内市町と共に国民健康保険の運営を行い、さらに、県が財政運営の中心的役割を担うことにより、国民健康保険制度の安定化を目指すものです。国民健康保険の県広域化に伴い、県が医療給付費などに充てるための「国保事業費納付金」の額を決定し、市町に到達することになりました。

市は、その納付金を国民健康保険税として被保険者から集め県に納付することにより、これまで市が負担してきた医療給付費などの全てを県から医療機関などに支払うことになりました。

市は、納付金に見合う国保税率を決定するため、国からの交付金等が増額されたことも踏まえ、被保険者の負担軽減を念頭に置き、様々な要因を考慮しながら平成30年度の国保税率の「引き下げ」を決定しました。同時に、将来的な県内での保険税率の統一を見据

え「資産割」廃止を実施しました。この結果、平成30年度の国保税は低所得者世帯を中心に、負担が緩和されると見込まれます。

また、これまで国保の基金は、急激な医療給付が発生した場合に活用するため積み立てされてきましたが、今後は国保事業納付金の引き上げなどにより保険税率の引き上げが必要になった場合など、被保険者の負担の緩和を役割の一つとして円滑な国保事業運営のために活用していきます。

国保加入者が減少・高齢化する中で、国保制度改革によって国保財政を安定させることにより、国保税の負担増を抑制することができるのではないかと考えられます。

委員からは基金残高があるのだから「もっと安くすべきだ」との意見も出ましたが、平成30年度から新しく始まる国保税の仕組みなので、しばらくはこのまま様子を見守っていくことになりました。

### 子ども医療費の窓口無料化について

平成30年4月から、県内医療機関での子ども医療費の窓口無料化が始まりました。窓口無料化に関連して、「勝山市子ども医療費の助成に関する条例」、「勝山市母子父子家庭等医療費の助成に関する条例」、

「勝山市重度障害児（者）医療費の助成に関する条例」の改正案が提出され可決しました。

議案審査の中で、委員からは「現在、中学3年生までが無料となっているが、高校3年生までの無料化を検討しても良いのではないか」という意見が出されました。

委員からは、「事業制度を知ってもらうため、PRを強化すべきではないか」との意見がありました。理事者からは、母子健康手帳交付時に制度説明を行っている。今後も制度の周知に努める」と回答がありました。

あわせて、福井勝山総合病院産婦人科機能強化のため、クラウドファンディングを活用して500万円の寄附を行う予定です。

### 福井勝山総合病院産婦人科への支援について

妊婦への支援を含めた福井勝山総合病院産婦人科への支援に関連して、平成29年度限りで終了する予定だった「ここに妊婦奨励金事業」が議論の結果、継続することになりました。

委員からは、「事業制度を知ってもらうため、PRを強化すべきではないか」との意見がありました。理事者からは、母子健康手帳交付時に制度説明を行っている。今後も制度の周知に努める」と回答がありました。

あわせて、福井勝山総合病院産婦人科機能強化のため、クラウドファンディングを活用して500万円の寄附を行う予定です。



## 建設産業委員会

### ■今定例会の審査結果

審査の結果、当初予算、補正予算、請願（継続審査事件）を含む14件のうち議案13件を可決し、請願（継続審査事件）1件を不採択としました。

### 給水制限について

今冬、寒波による給水管の凍結・破裂による漏水、融雪の使用量増加並びに水源の水位の低下などのため給水制限に至ってしまい市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

今後の対応として、法恩寺水系から市街地への供給量増量及び給水制限時に影響のあった地区の対策として、仕切弁による地区のブロック化・配水区域の整備・既設配水管の増径などを実施していきます。

また、市街地全域を対象とした漏水調査及び修繕を実施します。

委員が



給水活動の様子



らは「凍結・破裂した家庭の実態調査をしたらどうか」「凍結防止器具を取り付けてはどうか」などの意見がありました。

理事者からは、「漏水調査の強化のほか、中長期的な対応として、井戸の新設、浄土寺川ダムからの取水による水源の検討を行っていく」と答弁がありました。

## ホワイトザウルス広場の整備について

平成29年11月にホワイトザウルスが復活した広場に、道路利用者に対するサービス向上と魅力発信を行うため、

社会資本整備総合交付金を利用して、大型1台、小型22台の駐車場の整備、トイレの設置を検討しています。広場の維持管理に関しては、以前より管理していただいている地元区に継続してお願いしたい旨の報告がありました。

## 多世帯同居・近居推進事業補助金における交付金額の変更について

多世帯同居リフォーム支援事業は10万円増額し、1件当たりの上限金額が80万円から90万円への変更、多世帯近居住宅取得支援事業の新居補助においては県の補助金が減額となりますが、減額分を市が負担し、従来どおり1件当たり上限50万円の補助を継続する旨の報告がありました。

市では、家族間で助け合って子育てなどがしやすい住環境を維持・推進するため、多世帯で同居するためのリフォームや、近居するための住宅取得について、支援事業を推進していきます。

## 映画「ローカル線ガールズ」の製作状況について

地方創生推進交付金の採択を受け、沿線自治体、えちぜん鉄道、県内金融機関、市外企業をはじめ市外在住の勝山市出身者の皆さんなどの協力やクラウドファンディングなどの資金を活用し、3月末に完成の運びとなりました。

当初は、地方映画として各種映画祭などへの出品を通じて上映箇所数を増

やしていく予定でしたが、映画関係者の中で高評価をいただき、今回配給業者による全国上映を行うことになりました。

現段階での上映スケジュールは、10月に福井県内先行上映、11月全国7大都市上映、12月全国上映(約50館以上)となっております。

## 特別委員会報告

### 誘客拠点整備に関する特別委員会

本特別委員会は、12月定例会以降、1月26日、2月1日及び3月19日に委員会を開き、理事者から詳細な説明を聴取し議論しました。

委員会では、「長尾山総合公園の便益施設『勝山市ジオターミナル』及び「道の駅 恐竜渓谷勝山ジオパーク(仮称)」の管理運営について報告がありました。

ジオターミナルについては、3月19日の委員会で工事の進捗状況を現地を確認しました。

現地では、設備の状況や現段階での備品の配置等について説明を受け、準備状況も確認しました。

委員会では、利用者の立場に立って配置などを考慮するよう求めました。そして、4月17日にオープン式典を行



勝山市ジオターミナル

いたい旨の報告がありました。

道の駅については、勝山市観光まちづくり株式会社から、花月楼やジオターミナルなどの今後の運営について説明を受け、意見交換をしました。

その後、道の駅の運営については、勝山市観光まちづくり株式会社を指定管理者の予定者とする旨、報告がありました。

そして、やる気のある市民の積極的な参画が得られる体制を早期に検討し、委員会に報告するよう提言しました。

本特別委員会としては、今後とも市民の皆様のご意見を十分踏まえ、理事者と種々議論を重ねていきます。